布田小地区ハッピータウン協議会

Happy Times

http://happy-usako.jp

発行：布田小地区ハッピータウン協議会　2013年 5 月号　vol.3

第2回 あんしんあんぜん防災訓練を実施

昨年の11月18日に布田小学校において、布田小地区ハッピータウン協議会主催の第2回あんしんあんぜん防災訓練が開催された。（2面に関連記事）

当日は天候に恵まれ穏やかな雰囲気の中、地域住民の皆さん中心に多くの参加があり、東日本大震災以来の防災意識の高まりを感じられる訓練となった。

消防署による機材展示実演訓練、消防第5分団による放水体験、また警察署による縄ロープを使った演習など、今年新しく加わったメニューが大変分かりやすいと、参加者に好評だった。

当実行委員会の山本光則事務局長（65才）は、「参加者が昨年より少なかったようだが訓練内容が充実しており、開催目的は達成できたのではないか。平成25年度も地域の防災意識の啓蒙と実地を目指し、関連した事業を計画しているので、皆さんにまた参加してほしい。」と訓練を終え感想を述べていた。

消防第5分団による放水体験

おやじネットの簡易トイレの組立

予告

平成25年11月17日

こころの健康支援センター
13：00～17：00
定員40名　受講費用無料
救急技能認定証授与

救急救命実践講習会を開催

普通救急救命講習
4時間版

布田小地区ハッピータウン協議会では、本年度の主な事業として、救急救命実践講習会を開催する。これにより過去2回の防災訓練に基づき、人の手に頼るのではなく自分たちでも救急救命技術の習得を地域の皆さんと一緒に目指すことで、子供から大人まで世代を超えたより安心な地域を作っていく。通常は受講費用1人1,400円かかるが、定員40名分は当地区協が全額負担する。受講すると技能認定証が授与される。内容詳細は8月以降に決定し告知。

（問合せ：山本485-4992）

調布市防災教育の日

去る4月27日（土）、調布市防災教育の日として、公立の小中学校内で地域の協力の下、防災教育訓練が行われた。

午前中の2校時目の保護者・児童・地域向けに調布市教育委員会小坂力指導主事による講演会では、津波で逃げるときの心構えを例にあげ、参加者は「自分の命は自分で守る」ことの大切さに真剣に耳を傾けていた。

3校時目は各学級に分かれ、担任の各先生の準備した「命」の授業が行われた後、4校時目には11：24地震発生というシュミレーションで避難訓練を開始、

避難所訓練を実施

体育館に待機している保護者が児童を教室へ引取に行く引取訓練がスムースに行われた。

この後、6年生の児童と保護者を対象に体育館で布田小地区ハッピータウン協議会の協力で避難所訓練を実施。居住地区ごとに分かれ、アルファ米の作成、段ボールでの区分け練習、消防署による救命救急体験を保護者、児童、学校、地域の協力で実施した。

布田小の井口校長は「今回は保護者も大変真剣に臨んでくれ、避難所訓練も効率的で、大変に内容の濃い防災教育の日でした。」と、安堵の声で振り返っていた。

簡易担架を作成して搬送する訓練

ＡＥＤと心肺蘇生の訓練

各地区班ごとにアルファ米を作成

地区協はハーモニー

布田小地区ハッピータウン協議会はおかげさまで今年で発足3年目を無事に迎えることができました。これまで関係するすべての皆さまのご理解とご協力に心からお礼申しあげます。

調布駅の地下化も完了し、駅および線路跡地の撤去も猛スピードで進行し、日々街の景観の変化を実感している今日この頃ですが、当地区協でも、より身近な身の周りの居住地区の現状や変化をより体感し、そこから街の課題などを取り上げていこうと、「街あるきハッピーウォーク」というのを昨年度2回実施しました。

半年という間の期間に、新しい市の施設ができたり、空家が多くなったり、空き巣が連続して入ったり、思っているより多くの変化が存在することに気付かされます。

街も人と同じように年齢を重ね、新旧を交代しながら現在・過去・未来を生きているんだなあという感慨を、同じ地域に住む身近な方々との共感を得ながら歩くのは意外にも新鮮なものでした。

地区協についてはいろいろな在り方があるかと思いますが、私は地に足のついた誰もが一様に平等に共感できる「最小公倍数的活動」がいいと思っています。また、地域コミュニティーは、目指してつくるものではなく、そこの個人や団体・サークルなどが結果的に奏でるハーモニーであるとも感じています。

みなさんの愛するこの地域への願いや希望が大人と子供たち全員の未来への光となるよう、本年も当地区協へのご理解とご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会
会長　依田 耕児

2013 Happy-Town Annual Matrix Calender

	ハッピータウン内（主な活動）		他の地区協等
4月	定例総会（多摩川自治会、布田西部自治会、桜丘睦会） 防災教育の日布田小避難所訓練（27日ハッピータウン）	多摩川クリーン作戦（各自治会）	
5月	ハッピータウン総会（24日） 布田小運動会（25日）	火の見やぐら下花植え（春）（布田南部自治会） 日本赤十字募金（各自治会） さくら広場プランター花植え替え（多摩川自治会）	
6月			
7月	布田わくわく歌声ひろば（6日 こころの健康支援センター・わくわく実行委員会） まちづくりハッピーウォーク（7日 ハッピータウン） 布田小地区盆踊り（13-14日 健全育成・他）	社会福祉協議会会員募集（各自治会）	地区協地域交流会（10日 all 地区協）
8月	盆踊り（10-11日 多摩川自治会） 調布市健全育成地区親善ソフトボール大会（18日 健全育成） ラジオ体操（19-25日　布田小おやじネット）	班長懇談会（布田西部自治会） そうめん流し（25日 桜丘睦会）	
9月	白山宮神社秋の祭礼（7-8日 布田南部自治会） 布多天神社秋の祭礼（23日 布田西部自治会） 多摩川名月祭（29日桜丘睦会）	防犯の集いへの参加（多摩川自治会） かもめ親睦交流会（28日 染地かもめ会）	
10月	布田小地域運動会（20日 学校開放） わくわくまつり（27日 社会福祉協議会・その他有志）※ 多摩川クリーン作戦（各自治会）	赤い羽根募金（各自治会）	
11月	染地児童館祭り（10日 健全育成） 救急救命実践講習会（17日 ハッピータウン） 天覧会（23日 布田小）	火の見やぐら下花植え（秋）（布田南部自治会） さくら広場プランター花植え替え（多摩川自治会） 防火のつどい、禁煙マナーアップ参加（各自治会）	
12月	和凧作り教室（布田小4年生対象　健全育成） 年末特別警戒（28-30日 染友自治会、28-31日 布田南部自治会、染地一丁目自治会、1週間 多摩川自治会） 夜回り火の用心（桜丘睦会） 年末町内清掃（多摩川自治会） 消防防火訓練（NTT調布社宅自治会）	歳末助け合い募金（各自治会）	
1月	白山宮神社初詣（1日 布田南部自治会） 和凧・正月飾り 布田小体育館（健全育成）	消防団出初式見学（多摩川自治会） もちつき（桜丘睦会）	
2月	白山宮神社節分祭（3日 布田南部自治会） 四地区対抗耐寒マラソン（健全育成）		
3月	まちづくりハッピーウォーク（2日 ハッピータウン） 六地区親睦ソフトボール大会（健全育成） スキー教室（28-30日 健全育成）	防災講話の開催（多摩川自治会）	

（年間）
防犯パトロール年40回（布田西部自治会）
防犯パトロール年24回（布田南部自治会）
布田小通学路安全確保（布田南部自治会、染地一丁目自治会）

毎月第一土曜日・定例会（布田南部自治会）
毎第一土曜日幹事会（染地一丁目自治会）
毎火曜日 廃品回収（調布ハウス自治会）
バーベキューパーティー（調布ハウス自治会）
毎月1回の社宅内清掃（NTT調布社宅自治会）

※上記内容は5月末までに調査した分です。未載の活動などあればどうぞお知らせください。次号以降にご紹介していく予定です。

第14回わくわくひろばまつり ～調布市こころの健康支援センター地域の集い～

社会福祉協議会では、地域の子供から高齢者までが楽しめる世代間交流活動を行っています。今年も地域の特徴を生かした「集いの場」として開催します！

10月27日（日） 10時～15時
こころの健康支援センター

今年も布田小、三中、南高校などの出演やゲームコーナーや折り紙・絵手紙体験、喫茶コーナーとして福祉施設やボランティア団体のクッキーやジェラート販売など盛りだくさんの内容を予定しています！

（こころの健康支援センター　北島・木内　042-490-8166）

ハッピーうさ子 キャラクター紹介

布田小学校で飼っているうさぎにもハッピー隊の一員になってもらってます！このマーク見かけたら気軽に声かけてね！

なまえ：ハッピーうさ子
生年月日：2011年7月7日
家：布田小

編集後記 はっぴーなきずな

―昨年、7月に産声をあげてから早くも2年の時が過ぎました。早いものです。その間、2度の防災訓練を実施、防災への意識の向上、絆が深まった事と思います。これから、更なる地域との共生を図るべく様々な活動に取組めたら、より一層、意味のある地区協になる事と確信しています。皆様のご協力をお願いします。（中谷 俊一）

布田地域内にある調布市こころの健康支援センターの職員として地区協に関わっておりますが、一般的な地域の課題の「防災」「交流」「安全」は、まさに地域での『つながり』が重要だと感じています。こころのセンターにおいても地域の皆さんに向けて10月のおまつりやこころの健康に関する講演会などを開催しています。ぜひセンターにもおいでください、そしてみんなでつながっていきましょう！（木内洋）

地区協ハッピータウンも設立3年目となりました。布田小地区は布田小学校を中心に自治会及びその関係機関の連携がとてもうまく良くとれている地域だと感じています。協議会の活動の中に防災訓練がありますが、訓練を通して地域がどのように繋がっていくのかを皆様と一緒に考えながら「ハッピータウン」の輪を広げていきたいと思いますこれからも微力ながらお手伝いさせていただきます。（石塚絹代）

健全育成布田地区委員会より地区協に関わらせていただいております。地域の子供たちの健全な育成、青少年の活動の支援と環境の浄化推進のために活動しています。地区協を通して地域の方々との輪が広がり、様々な活動の中でも人と人の絆が生まれてくるものだと感じています。地域の方々と子供たちの日々が、より安心で安全なものであるよう、ハッピータウンの輪の絆が広がるようにこれからも活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。（鈴木啓子）

第2回あんしんあんぜん防災訓練

平成24年11月18日開催・晴れ

参加した皆さんの声　①訓練の感想　②地域の課題

下山邦弘さん（布田3丁目）

①放水体験、人形を使った救助体験などは今まで行ったことはなかった。まわりの方同士で助け合いをすることは必要だと感じた。ヒモの結び方の体験は大変勉強になった。自分でも縄はしごなど、できることは準備しておこうと思う。

②調布は番地がすぐにわからない所も多いので、電柱の他にもそうした標識がもっとあるとよいと思う。

本橋薫さん（染地1丁目）

①ＡＥＤの訓練を初めて行い大変勉強になった。ヒモの結び方などももっとやってみたいと思った。

②今回の地域の防災訓練の際など、消防車のサイレンで開始を連絡する

放水体験は学校北側道路上にある防火栓から水を引いて実施。

調布警察署による縄ロープむすび

などできるよいと思った。熱心な方は何度もこうした機会に参加しているが、近くに住んでいるこうした訓練に行ったことがない方にもぜひ参加してほしいと思った。今後さらに新しいことも取り入れて地域で活発に活動していけるとよいと思う。

山口美和子さん（布田1丁目）

①放水体験はかなり力がいるため女性では難しいと感じました。子供も電話を使った通報訓練に参加しましたが、緊張していたので、実際の通報時に正確に伝えられるか心配になりましたがとても良い体験ができました。

染地かもめ会（会長他４名）

①体育館の避難所体験にてサラダ油をつかったランプなど身近な日用品で作った防災用品を説明いただいた。今まで使ったことがなかったのでとても印象的だった。災害時に作れるように瓶などを備えておきたい。

②自治会としては立川の防災館に行ったことがあるが、１回では忘れてしまうのでこうした訓練に繰り返し参加していきたい。

中本百菜さん、冨田れいさん、窪田あみさん（当時布田小６年生）

①放水体験が印象に残っていて、こんなに遠くまで水が届くことにびっくりした。救助のための毛布と竹竿で作った簡易式の担架に乗ってみたが、毛布なので落ちると思ったけどがっちりしていました。

②小学校ではＡＥＤの体験、４年生のころには起震車の体験をしました。前回も参加しましたが、こういった地域の防災訓練に続けて参加したいです。また新しい体験をしてみたいと思いました。

依田光代さん（布田5丁目）

①今回の訓練は混んでなかったのでじっくり一つずつ丁寧に教えてもらいながら体験できた。特に心臓マッサージなど質問もしながら指導を受けることができたのでとてもよかった。

②こういった地域の防災訓練に準備のところから、たくさんの地域の方に参加できるとよいと思う。１回参加してしまうだけでは忘れてしまうのでくり返し行っていくことが大切で、もっとたくさんの方にも参加してほしいと思いました。

山本和子さん（布田5丁目）

①放水体験は行ったことがなかったので参加できてよかった。とてもホースが重かったので、実際に災害時に持てるのか、扱えるのかなどいろいろ考えることができた。

②今回は子どもたちの参加が少なかったように思います。市報で見ましたが、他の地域では子ども向けのイベントとしての訓練もしていたので、今後ぜひ取り入れてほしいと思いました。

訓練の最後にはおいしい豚汁が大好評！

平成 25 年総会開催される

去る5月24日（金）19時より布田5丁目のこころの健康支援センター2階「こかげ」で布田小地区ハッピータウン協議会平成25年総会が開催された。

参加者は委任状出席含む計34名で、昨年度の活動報告および決算、ならびに本年度活動計画と予算が承認された。

総会の最後には7名の新任の運営委員の自己紹介とピンク色のハッピーキャップの贈呈が行われ、その中の一人、岩佐理佳さんは「おかげさまで3人の子供が昨年で布田小を全員卒業しました。今度はこちらのハッピータウンで少しでも地域にお役に立てればと思っています。」と会への抱負を述べていた。

平成 25 年度の役員・運営委員・監事の皆さん

平成24年度　布田小地区ハッピータウン協議会　決算

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

収入の部　（単位：円）

	項　目	決算額	予算額	摘　要
助成金	調布市地区協議会助成金	346,471	500,000	
	小　計	346,471	500,000	※ 予算額は，助成金交付額を記載 （A）
その他	1 前年度繰越金	21	21	
	2 預金利子	58		ゆうちょ銀行利子
	3 雑収入	2,000	0	寄付金
	小　計	2,079	21	
	収入合計	348,550	500,021	

支出の部　（単位：円）

	項　目	決算額	予算額	摘　要
助成対象経費	1 事務費	46,088	60,000	
	（1） 事務費	13,438	25,000	資料等印刷代、インク等事務用品費
	（2） 会議費	25,000	25,000	会議会場代、会議時お茶代
	（3） 通信費	7,650	10,000	会議案内等郵送料
	2 事業費	300,383	440,000	
	（1） 広報・交流推進費	109,680	180,000	HP運営費、広報誌発行経費4500部×1回、地域交流会参加費
	（2） 防災対策費	181,903	170,000	防災訓練諸経費
	（3） 防犯・交通安全対策費	0	50,000	
	（4） 地域福祉増進費	8,800	40,000	街歩き参加者昼食弁当代
	小　計（B）	346,471	500,000	
助成	予備費	2,079	21	（次期繰越金）
	小　計	2,079	21	
	支出合計	348,550	500,021	

調布市地区協議会助成金		
収入の部 助成金小計予算額	500,000	…（A）
支出の部 助成対象経費小計決算額	346,471	…（B）
清　算　額　（A－B）	153,529	

ＮＴＴ調布社宅自治会

①村上理（むらかみおさむ）

②26 世帯でアットホームに、ゆるやかな活動をしています。

③月１回の清掃活動は、家族での参加もあり良い親睦の機会となります。また、年に１度、併設の独身寮と合同の消防訓練が行われます。

④現役世代が中心の自治会なので「いざという時」の地域連携は大切だと思っています。

（村上会長さんのご家庭はまだお子さんが小さいので地域行事への参加は、今まで残念ながら無かったとの事。やはり防災関連は心配だそうです。）

質問事項①会長氏名②自治会世帯数③自治会自慢④地区協に期待すること

布田小地区ハッピータウン協議会　役員・運営委員

≪役員≫ 平成 25 年度

会長　依田 耕児（地区ボランティア有志）
副会長　山本 光則（布田南部自治会）
中谷 俊一（地区ボランティア有志）
林田 紀子（地区ボランティア有志）
○金山 耕治（染地かもめ会）
総務　河内 信郷（地区ボランティア有志）
矢幡 秀治（布田小地区学校開放運営委員会）
関口 謙二（多摩川自治会）
斉藤 修太郎（健全育成推進布田地区委員会）
◎雪本 修一（布田小ＰＴＡ）
会計　斉藤 厚子（地区ボランティア有志）
野口 潤（地区ボランティア有志）

≪運営委員≫

小久保 弘（桜丘睦会）
澤口 孝行（桜丘睦会）
◎山口 祐二（布田西部自治会）
新田 重彦（布田西部自治会）
◎岡宗 秀一（布田西部自治会）
小泉 伸子（布田南部自治会）
杉山 幸昌（布田南部自治会）
久場 兼三（染地一丁目自治会）
松井 利夫（染友自治会、民生児童委員）
石塚 絹代（民生児童委員）
◎梅原 厚子（民生児童委員）
鈴木 啓子（健全育成推進布田地区委員会）
◎岩佐 理佳（健全育成推進布田地区委員会）
◎柴垣 涼子（健全育成推進布田地区委員会）
井口　中（布田小学校）
山口 節子（染地児童館）
高野 千尋（郷土博物館）
木内　洋（こころの健康支援センター）
◎木村　仁（地区ボランティア有志）

≪監事≫

○山口　勉（布田西部自治会）
○荘司 和代（民生児童委員）

◎ 新任　○ 役職変更